

「人と自然の共生国際フォーラム」 11月24・25に開催しました

特集 海上の森はいま



11月24日(土)、25日(日)の2日間にわたり、愛知県立大学講堂(長久手町大字熊張)で、「第1回 人と自然の共生国際フォーラム」が約500名の参加により、盛大に開催されました。

「自然の叢智を再考する 里山から学ぶ持続可能な社会づくり」と題して行われたこのフォーラムは、愛知万博の理念である「自然の叢智」を継承し、「海上の森」から全国へ、「愛知県」から世界へ発信し、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに向けたおおきな潮流を創り出すことを目的に開催されたものです。

24日の開会式では、実行委員会を代表して神田真

海上の森シンポジウム

「海上の自然とシデコブシ」と題し、海上の森で継続的に行われている調査・研究の視点から、海上の森の自然を理解



します。また、これからどのように自然や里山を保全していくべきなのかについて、専門家と参加者とともに考えます。

開催日時:平成19年12月16日(日)午後1時半

場所:瀬戸市文化センター文化交流館31会議室

プログラム:特別講演「東海地方の植物の特色とその地史的背景」、現地報告「瀬戸地域のシデコブシ」、研究報告「海上の森におけるシデコブシの保全を目指した基礎研究」、フリー討論「シデコブシの存在とこれからの保全」

申込:参加者名、住所、電話をご記入の上、あいち海上の森センターへ郵送、FAX 又はメールでお申込ください。

秋愛知県知事、あいち海上の森センター名誉センター長のマリ クリスティーヌ氏らのあいさつの後、国際連合大学高等研究所:いしかわ国際協力研究機構所長のアルフォンス カンブー氏による基調講演「世界の生態系の現状と里山との関連」、京都大学名誉教授の加藤尚武氏による基調講演

「石油がなくなる日」、東京大学大学院新領域創成科学研究科教授の鬼頭秀一氏による課題提起・意見交換「里山の哲学の可能性 ~人と自然の豊かな関係を再生するために~」が行われました。25日はパネルディスカッション「里山から学ぶ持続可能な社会」が行われ、2日間のフォーラムのまとめとして、コーディネーターである京大大学生存圏研究所所長・NPO 法人の木理事長の川井秀一氏が「フォーラム宣言」を提案し、参加者の大きな拍手を持って採択されました。フォーラムの今後10年間の実施に向けた大きな道しるべが示されたといえるでしょう。

あいち自然ネット設立

県内の自然環境に関して活動している団体及び関係施設等が相互の情報交換及び連携強化、自然に関する学習や活動等の普及啓発の推進、質的向上を図り、もって持続可能な社会づくりに資することを目的とし、「あいち自然環境団体・施設連絡協議会」(愛称:あいち自然ネット)が設立されることになりました。その設立総会が、下記のとおり開催されます。会に賛同していただける団体及び施設を広く募集しています。ぜひ一緒に情報の輪・活動の輪・人の輪を広げましょう!

開催日時:平成19年12月22日(土)午後2時~

場所:あいちNPO交流プラザ1階会議室B

申込:団体・施設名、出席者、住所、電話番号をご記入の上、「あいち自然ネット」設立準備会(あいち海上の森センター内)へ郵送、FAX 又はメールでお申込みください。

詳しくはチラシやあいち海上の森センターホームページを御覧ください。